

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科／管理栄養学科／食品開発科学科			
科目名称	蔬菜園芸学特別演習Ⅱ							授業形態			
科目コード	610900	単位数	2単位	配当学年		実務経験教員			アクティブ ラーニング		
担当教員名	陳 蘭庄									ICT活用	
授業概要	蔬菜園芸学特別演習Ⅱでは、野菜分野で最もホットな研究原著論文、新聞記事、研究ノートなどを話題として提起し、それぞれの研究に関して、研究の背景、研究の目的と目標の設定、用いた実験材料の選択および実験に使用した方法、さらにデータの取り方およびまとめ方、実験結果に対するまとめおよび考察の書き方、最後にどんな参考論文を引用すべきかなどなどについて、徹底的に解析し、解剖し、解明して専攻生自分自身の研究テーマと照らし合わせて、よりよい学位論文をまとめられるように役に立てることを目的としている。この講義の内容は、これまで本研究室で実際に行っている研究内容なので、これまでに得られた研究成果を発表してきた学会要旨や学術論文を交えながら、グループ討議や、実験の現場で操作の手本を見せたり、スキルを覚えさせたりすることを行う。										
関連する科目	蔬菜園芸学特論ⅠとⅡを学習することを勧める。										
授業の進め方 と方法	パワーポイントや学術論文等を使って、一緒に議論する形で、受講生にも受動的ではなく、頭を動かして教員との双方向授業を行う。										
授業計画	蔬菜園芸学特別演習Ⅱでは、以下の内容で行う。 第1回～第4回 組織培養系を用いた遺伝子組み換え実験系論文の書き方について 第5回～第8回 細胞学的または形態学的な手法を用いた実験系の書き方について 第9回～第12回 選抜育種や伝統的な育種手法を用いた育種実験系の書き方について 第13回～第15回 まとめおよびレポート作成指導										
授業の到達目標	講義で解説したそれぞれの課題を例にして、履修生自身が自分の研究に対して、研究計画の立案、材料および方法、データのまとめ、図表の作成、結果に対する考察・評価など、研究論文の書き方に關した一連のノウハウを活用して自分の修士論文のシミュレーションをレポートとして作成できることを目標とする。										
学位授与の方針 (DP)との関連	1.知識・技能と教養-(1)食・緑」の専門分野における高度な知識・技能／1.知識・技能と教養-(2)未知問題解決のために知識・技能を創造的に活用できる。／2.人間力・社会性・国際性-(1)豊かな個性を発揮して課題を発見し、探求することができる。／2.人間力・社会性・国際性-(2)課題を広い視野で捉え、客観的に評価ができる。／2.人間力・社会性・国際性-(3)主体性を持って多様な人々と協働し、課題解決ができる。／2.人間力・社会性・国際性-(4)自分の文化や異なる文化を理解でき、文化を超えて交流できる。										

授業時間外学習【予習】	事前に配った資料やプリント、指定した教科書または参考書、本授業とかわりのある新聞記事や科学雑誌等をもって、予習すること。また、授業の内容について、分かったことやわからなかったことをはっきりさせ、配られた資料やノートを再点検してわからなかったことを自ら解決する。それでもわからない場合、図書館にて関連図書を調べたりインターネットを使ったりして解けるようにする。どうしてもわからない時は、先生に直接聞いてみる。わからなかったことを貯めることなく、すぐに解決することを勧める。事前事後合わせて1時間程度が必要である。
授業時間外学習【復習】	また、授業の内容について、分かったことやわからなかったことをはっきりさせ、配られた資料やノートを再点検してわからなかったことを自ら解決する。それでもわからない場合、図書館にて関連図書を調べたりインターネットを使ったりして解けるようにする。どうしてもわからない時は、先生に直接聞いてみる。わからなかったことを貯めることなく、すぐに解決することを勧める。事前事後合わせて1時間程度が必要である。
課題に対する フィードバック	基本的にその都度、指導を行う。それで解決できない問題については、参考になる文献等を読ませて次の授業の中で回答してもらう。
評価方法・基準	授業への取り組み姿勢と理解度（40%）、最終レポートの完成度（60%）を総合的に評価する。
テキスト	特になし。
参考書	随時、指定する。
備考	